



2011年4月15日発行（隔月刊）

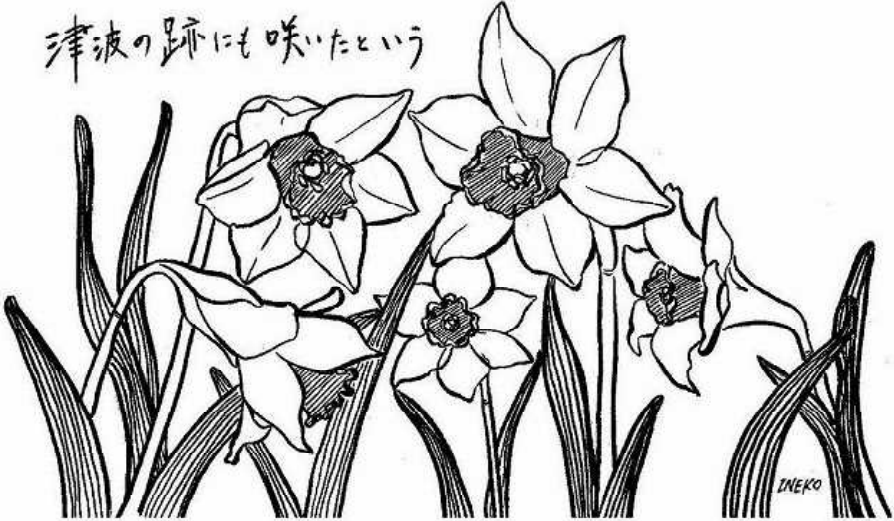


う 羽 化 か

ISSN1880-8646
2011年4月
第 85 号

横 浜 漢 点 字 羽 化 の 会
〒231-0851 横浜市中区山元町2-105 Tel 045-641-1290
発行責任者 代 表 岡 田 健 嗣
編集責任者 木 下 和 久

津波の跡にも咲いたという



目 次

漢点字の散歩（24）（岡田健嗣）	1
点字から識字までの距離（81）（山内 薫）	8
東京漢点字例会報告とわたくしごと（木村多恵子）	12
東京漢点字学習会報告（菅野良之）	18
ご報告とご案内	20
漢文のページ	23
漢点字講習用テキスト（初級編・第25回）	26
編集後記（木下和久）	27

漢点字の散歩 (二十四)

岡田 健嗣

漢点字紹介 (七)

4. 漢点字のご紹介





④ 比較文字と発音文字




a. 比較文字とその近似文字

ここでご紹介する比較文字は、第一基本文字、漢数字に続く三つ目の基本文字です。これらは、漢点字を考案された川上泰一先生のユニークな発想から誕生しました。


比較文字は、「父母」、「左右」など、文字の意味の上から小さなグループにまとめられるものと、長さ・距離・重さ・容量など、度量衡の単位を表すもの、二つのグループに大別できます。



比較文字の特徴は、一マス目に「」の符号が置かれることです。一マス目に「」の漢点字符号があつて、二マス目に文字を表す漢点字符号が置かれます。

他の文字と組み合わせられて複合文字を作るときは、二



マス目の漢点字符号が部首となります。このように比較文字は、「」が一マス目にある二マス漢点字であつて、しかも基本文字です。そして一マス目の「」の符号が、第一基本文字の「比」に由来しているところから、「比較文字」と呼ばれます。

上・中・下


(1) 上 ジョウ うえ かみ あがる
あげる のぼる

手のひらを上に向けて上野方を指し示す指事文字です。上の方、上に上がる、上昇することを表します。漢点字では、「」で比較文字を、「」で上を表します。

(2) 中 チュウ なか

軍隊の指揮官の持つ旗を象った象形文字と言われます。真ん中や内側を意味します。的に中る、毒に当たると、「あたる」という訓読もあります。漢点字では、「」で比較文字を、「」で中を表します。

例… 沖 仲 忠

(3) 下 カゲ した しも さがる
さげる くだる

手のひらを下に向けて、下を指し示す指事文字です。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄏」で下を表します。

右と左

(4) 𠄎 右 ユウ ウ みぎ

カタカナの「ナ」の右下に、「口」が置かれた形の文字です。カタカナの「ナ」の形は、「有」と同様に、手で何かを持っていることを、右下の「口」が持たれているものです。みぎがわを意味する文字です。漢点字では「有」とは違って、「𠄎(十)」の符号は用いられません。「𠄎」で比較文字を、「𠄏」で右側を表します。

例… 𠄎 若 𠄏 祐

(5) 𠄎 左 サ ひだり

カタカナの「ナ」の右下に、「工」が置かれた形の文字です。カタカナの「ナ」の形は、「有」と同様に、手で何かを持っていることを、右下の「工」が持たれているものです。ひだりがわを意味する文字です。漢点字では「有」とは違って、「𠄎(十)」の符号は用いられません。「𠄎」で比較文字を、「𠄏」で

左側を表します。

例… 𠄎 佐

大と小

(6) 𠄎 大 ダイ タイ おおきい

人が両手を広げてたった姿を帳面から見たところを象っています。漢点字では「𠄎」で比較文字を、「𠄏」で大を表します。

例… 𠄎 因 𠄏 奇 𠄎 美

* 「𠄎」の点字符号は、第一基本文字では「犬」を、比較文字では「大」を表します。「犬」では右肩に点が付いているだけで、形が大変類似しています。漢点字でも形の類似を採りました。

(7) 𠄎 小 ショウ ちいさい

小さなものが散らばっているところを象った文字です。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄏」で小を表します。

例… 𠄎 少 𠄏 肖 𠄎 尖

父と母

(8) 𠄎 父 フ ちち

字形は、父の象徴である斧に由来すると言われます。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で父を表します。

(9) 𠄎 母 ボ はは

女性が母になることを象った文字です。漢点字では「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で母を表します。

高と低

(10) 𠄎 高 コウ たかい

背の高い建物を象った文字です。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で高を表します。

例… 𠄎 稿 𠄎 膏 𠄎 縞

(11) 𠄎 低 テイ ひくい

右側の旁は、平らに均した土地を表しています。そこに人が住む集落が成立します。均した土地は、周辺より低くなります。この旁がテイの音を表します。左側には人偏がついて、元は背の低い人を表す文字でしたが、そこから「ひくい」という意味になりました。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で低を表します。この漢点字符号「𠄎」で、テイの音符を表しま

す。

例… 𠄎 抵 𠄎 底

入と出

(12) 𠄎 入 ニュウ いる 入れる はい

る

建物の入り口を象った文字です。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で入を表します。

* この文字は人の文字と左右が対象になっています。そこで漢点字符号も「𠄎」として、人の「𠄎」に近似した形を採りました。

(13) 𠄎 出 シュツ スイ 出る 出す

足を踏み出したときに付く足跡を象った文字です。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で出を表します。

優・良・可

(14) 𠄎 優 ユウ すぐれる やさしい

右側の旁は喪に服する悲しみを表した文字です。それに人偏が付いてそのような人を表します。またそのような所作をする人、俳優をも意味します。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で優を表します。

(15) 良 リヨウ よい

穀物を容れる袋を象った文字で、質のよい穀物の粒を選び分けることを意味する文字です。漢点字では、「良」で比較文字を、「浪」で良を表します。

例… 朗 浪 郎

* 「良」に字形の似た文字「良」があります。この文字も多くの文字を構成します。漢点字では「良」と、良の近似文字です。

(16) 可 カ よい べし

神に祈りを捧げるときに用いる道具と、その所作を象った文字です。「…した方がよい」、「…できる」という意味を表します。漢点字では、「可」で比較文字を、「可」で可を表します。

例… 可 何 河 奇

東・西・南・北

(17) 東 トウ ひがし

穀物を容れる袋を象った文字です。また、日が昇る様子を表すとも言われて、東の方角を意味する文字です。漢点字では、「東」で比較文字を、「東」で東を

表します。

例… 練 凍 棟

(18) 西 セイ サイ にし

木の枝にかけた鳥の巣を象った文字です。西の方角を表します。漢点字では、「西」で比較文字を、「西」で西

表します。

(19) 南 ナン みなみ

銅製の打楽器を象った文字で、南の方角を表します。漢点字では、「南」で比較文字を、「南」で南の方角を表します。

例… 献 楠

(20) 北 ホク きた

二人の人が、背を向け合っている姿を象っています。王様が背を向けているのが北で、この文字が北の方角を表します。漢点字では、「北」で比較文字を、「北」で北を表します。

例… 背

寸・尺・里

(21) 寸 スン

指の幅の長さを表す文字で、ほんの少しという意味を表します。現在では、3・03センチメートル。漢点字では、「寸」で比較文字を、「寸」で寸を表します。

例… 寺 射 守 村

(22) 尺 シヤク

手の親指と中指を広げたときの幅の長さを表す文字です。寸の10倍、30・3センチメートル。漢点字では、「尺」で比較文字を、「尺」で尺を表します。

例… 駅 積 沢 訳

(23) 里 リ さと

社を中心に人が寄り集まって生活を営む場所を意味する文字です。また距離の単位として、3・9273キロメートルを表します。漢点字では、「里」で比較文字を、「里」で里を表します。

例… 埋 野 理 裏

斤と貫

(24) 斤 キン

斧を象った文字です。斧は木を伐ったり、武器に用いたりしました。また重さの単位として、600グラムを表します。漢点字では、「斤」で比較文字を、「斤」で斤を表します。

例… 析 近 新 折

(25) 貫 カン つらぬく

子安貝の貝殻を連ねた形を象った文字です。貝殻に穴を空けて紐を通すことから、ずっと続くことを意味するようになりました。重さの単位として、3・75キログラムを表します。漢点字では、「貫」で比較文字を、「貫」で貫を表します。

例… 慣

勺・升・斗

(26) 勺 シヤク セキ

水をくむ小さなひしゃくを象った文字で、くむとかわずかという意味を表します。容量の単位として、18ミリリットルを表します。漢点字では、「勺」で比較文字を、「勺」で勺を表します。

例… 釣 的 約

(27) 𠄎升 ショウ ます

ひしやくの中に者が入っている様子を象った文字です。そこからの容量を量る容器、マスを意味するようになりましした。容量の単位としては、1・8リットルを表します。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で升を表します。

例… 𠄎昇

(28) 𠄎斗 ト

柄の付いたひしやくを象った文字です。ひしやくで穀物をすくい取る、その容量を量ることを意味します。容量の単位としては、18リットルです。漢点字では、「𠄎」で比較文字を、「𠄎」で斗を表します。

例… 𠄎科 𠄎斜 𠄎幹 𠄎料

比較文字の近似文字

(29) 𠄎天 テン あめ あま

「大」の近似文字です。大の上に接して一が置かれた形で表されます。人の体とその上の部分の頭を象っています。天は空を意味して、神のいる場所と考えられました。漢点字では、「𠄎」で近似文字を、「𠄎」で大を表します。

(30) 𠄎太 タイ タ ふとい ふとる

「大」の近似文字です。「大」の下の開いたところに点を置いた形です。「おだやか、やすらか」という意味に用いられます。漢点字では、「𠄎」で近似文字を、「𠄎」で大を表します。

(31) 𠄎夫 フ フウ おつと

「大」の近似文字です。大は、両手を広げて立っている形、その男の髻に簪を差している形の文字です。漢点字では、「𠄎」で近似文字を、「𠄎」で大を表します。

(32) 𠄎氏 シ うじ

「低」の近似文字です。低は人偏とテイの音を表す形からなっています。旁は、土地を平らに均して、人の住まいを置くことを表します。その上の部分がこの「氏」です。この文字は、氏族の象徴である柄の付いた小刀を象っています。漢点字では、「𠄎」で禁止文字を、「𠄎」で低の旁を表します。

例… 𠄎昏 𠄎紙

(33) 𠄎丘 キュウ おか

「升」の近似文字です。土地の盛り上がりと谷間を象っています。丘漢点字では、「𠄎」で升を、「𠄎」で近似文字を表します。

例… 兵

* この他に「憂」(優)、
「良」、「斥」(斤)があります。これらは他の文字の構成要素として重要です。

b. 発音文字

4番目の基本文字は「発音文字」です。文字の音や訓をカナ点字で表して、漢字として使用するのがこの「発音文字」です。字形の面から見ると、やや複雑な形をした文字です。

(34) 円 エン まるい

儀礼用の丸い器を象った文字です。漢点字では、「」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「エン」となります。

(35) 鬼 キ おに

大きな力を持つもので、人に危害を加えるものとして恐れられました。漢点字では、「」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「オニ」となります。

例… 魂 魔 魅

(36) 告 コク つげる

神に祈ってその声を聞いたり、王の命令を臣下に伝えることを表す文字です。漢点字では、「」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「コク」となります。

(37) 事 ジ こと

国王の行う祭りと、国王に仕えることを表します。漢点字では、「」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「コト」となります。

(38) 生 セイ ショウ 生きる うま

春に、草が芽生える形を象った文字です。漢点字では、「」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「セイ」となります。

(39) 争 ソウ あらそう

棒状のものを引き合って、争う姿を象った文字です。漢点字では、「」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「ソー」となります。

例… 静 浄

(40) 対 タイ ツイ

人が向かい合って壁を打ち固める形を象った文字です。タイと読むと向かい合うことを、ツイと読むと、

二つで一組の意味を表します。漢点字では、「**ハ**」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「タイ」となります。

(41) **ハ** 拝 ハイ おがむ

草花を手で抜く形を象った文字です。頭を地につけて拝礼することを意味します。漢点字では、「**ハ**」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「ハイ」となります。

(42) **ハ** 反 ハン ホン タン そる かける そむく

崖をよじ登っているところを象った文字です。崖が急なために身体が反り返っていることを表します。漢点字では、「**ハ**」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「ハン」となります。

例… **ハ** 坂 **ハ** 板 **ハ** 返 **ハ** 飯

(43) **ハ** 民 ミン たみ

瞳を突き刺して視力を失わせる形を象っている文字です。視力を奪って神に仕えさせることを意味します。漢点字では、「**ハ**」で表します。漢点字符号をカナ点字読みしますと、「ミン」となります。

例… **ハ** 眠

点字から識字までの距離（八十一）

盲学校・ろう学校生のインターシップ(五)

山内 薫（墨田区立あずま図書館）

Kさんがインターシップを行った翌年には、同じく文京盲学校のYさんがあずま図書館で職場体験を行った。Kさんは三日間だったが、Yさんの場合は二日間の日程であり、余裕のない職場体験になってしまったと言わざるを得ない。このときにも白百合女子大学の学生二名の図書館実習と重なり、初日は午前中がオリエンテーションと館内見学、窓口業務、午後は二人の学生に点字を教える事を課題にした。彼女は点字で読み書きしているものの強度の弱視なので窓口での貸出返却時のバーコードスキャン



窓口で貸出

などは余り手助けしなくてもこなすことができた。二日目の午前中は窓口業務のあと選定会議に出席してもらった。午後には毎月寺島図書館で行っている音訳者の集まり、「音訳勉強会」に参加し、音訳者の録音してきた課題について感想・意見を述べてもらうことにした。日頃視覚障害利用者から自分の音訳したものについて直接意見を述べてもらうことはほとんどないので、音訳者にとつては貴重な機会となった。音訳者にも事前に録音してきてもらった課題は、「嵐」のメンバーの一人一人にインタビューした雑誌「a n・a n」の「デビューー〇

の「デビューー〇年目突入、嵐は次のステージへ」（二〇〇八年一月二六日号）という記事だった。これは、Yさんが実習の事前打ち合わせに見えたときに、彼女の好きな芸能人を聞きき、



音訳勉強会でテープを聴くYさん

「嵐」が好きと聞いていたので選んだもので、音訳勉強会に参加する二〇人余りの音訳者は嵐のメンバー五人の内の一人分の記事を事前にテープ録音して持ってくることになっていった。そして、そのテープを全員で聴きながら彼女に意見を述べてもらった。音訳勉強会の終了後、Yさんのお母さんと担任の先生が寺島図書館に見え、反省会を行った。Kさんの場合には実習日誌はテキストファイルでもらい、それについての講評もテキストファイルで書いて渡したので記録が残っていたが、Yさんの場合には点字で書かれた実習日誌を見せてもらい、それに対して点字で講評を書いたのが残っていただけで、たつた二日間だったこともあって印象の薄いインタビューシンプだった。

Yさんが来た次の週、今度は東京都葛飾ろう学校高等部二年生のTさんが四日間の



担任と事前打ち合わせに来館

インターネットシッブに来館した。視覚障害学生の利用は以前からあり、全盲の学生にしる弱視の学生にしる何人も利用者がいたので、ガイドやコミュニケーションのノウハウはほとんど分かっていたが、聴覚障害利用者との対応は今まで教えるほどしかなかった。区役所の受け入れればよいのか多少の不安もあった。区役所の職員課からろう学校生のインターネットシッブを受け入れられるかどうか図書館に打診があったときには、口話でコミュニケーションを取っているとの話だったが、

七月一六日に担任の先生と打合わせのために来館した本人と話をしたところ、簡単な手話と筆談でコミュニケーションが取れることが分かった。Tさんの発語はとても明瞭で、何を話しているのか分からないということではなく、Tさんの意志を我々に伝えることには何の問題もないが、こちらがTさんに意志を伝える時にどうするかが問題だった。大きな声で話せばある程度聞こえるとのことだったが、基本的には筆談で話を伝えることにした。会議の場や机のある場所ではパソコンを使い、ワープロでこちらが伝えたいことを打って画面を見てもらい、窓口などではクリップホルダーに白紙を挟んでおき、その白紙に鉛筆で伝えたいことを書くことにした。その他簡単な意思の疎通には手話を

使うこともあったが、Tさん自身、仲間が話している日本手話はほとんど理解できないという。日本語対応手話は何と分かるとのことなので、Tさんに教えてもらいながら話の中に簡単な手話を交えることも試してみることになった。

さて、Tさんは専攻科のデザイン系で学んでいるということなので、今回のインターネットシッブでは専攻科でのデザインを生かして、新たに貸出を始める予定の知的障害者授産施設向け図書館利用案内を作ってもらうことを課題にした。この件に関してはこの連載の七四〇七六回（「うか」七八号〜八〇号）「墨田福祉作業所への出張貸出」で触れたのでそちらを見ていただければと思う。

第一日目はまず館内を一通り案内した後、朝のミーティングであずま図書館の職員全員にTさんを紹介した。その後、先週実習した文京盲学校のYさんの実習の様子を写真で見てもらい、四日間の予定表を渡して説明した。三日目の午後と四日目の午後特別養護老人ホームと老人保健施設を訪問して紙芝居などを行う予定があるので、紙芝居をやってみるかどうか尋ねると是非やってみたいとのことだったので、二日目の午後に実際にやる紙芝居を選んで練習することになった。

た。

さて初日の午前中の残りの時間は窓口に付いてもらった。窓口でのバーコードリーダーによる返却スキヤン、貸出スキヤンは全く問題なく、利用者からの口頭による質問等もなかったので小一時間はあつという間に過ぎ去った。

午後は二時から各図書館の障害者サービス担当者が集まって会議が予定されているので、それまでの一時間、マルチメディア・デイジー図書を見てもらうことにした。マルチメディア・デイジーについてはこの連載の三二・三三回（「うか」三五号・三六号）で既に

紹介しているので参照していただきたいが、パソコンの画面上にテキストと画像が表示され、同時に音声が生クロ（同期）して、現在音声で読まれているテキスト部分に黄色いバックライトが当たり、今どこを読んでいるかを示すという資料である。一般に文字か



マルチメディアデイジー図書を見る

らの情報を得るのが困難な学習障害、特にディスレクシアと呼ばれる人や発達障害の人、知的に障害のある人などが利用者として想定されている。はじめに見てもらったのはスウェーデンで出版された『赤いハイヒール—ある愛のものがたり』（写真／ビヨーン・アーベリン、文／ロッタ・ソールセン、訳／中村冬美）日本障害者リハビリテーション協会 二〇〇五）という、ヤングアダルト向けの写真絵本だった。そのあと、光村図書が作成したデジタル教科書の体験版があったので、それを見てもらった。この国語のデジタル教科書体験版は二〇〇五年の教科書改訂に合わせて作られたもので、一年生の「はなのみち」、四年生の「手と心で読む」、六年生の「やまなし」の四つの単元が収録されている。「はなのみち」ではさし絵がアニメーションのように動いたり、「手と心で読む」は点字を扱った教材で点字図書の出来るまでや目の自由な人のパソコン機器など、いくつもの資料映像が見られるようになっていて、デジタル教科書もマルチメディア・デイジーと同じように文字を音声で読むが、バックライトがあたるのではなく、読んでいる部分の文字が太く表されるようになっていて、以前マルチメディア・デイジーを製作している日本障害者リハビリテーション協会の人に光村図書のデジタル教科書作成

スタッフに連絡を取ってもらい、話をしてもらったことがあったのだが、相互協力体制にまでは至らなかった経緯がある。

さて、Tさんにこのデジタル教科書体験版も見てもらうことにした。パソコンのスピーカーは音が小さいので、パソコンに外部スピーカーを取り付け、音がある程度大きくなるようにして、六年生の単元、宮沢賢治の「やまなし」を見て（聞いて）もらった。彼女は六年生の時に江東ろう学校でこの教材を学んだことがあるといっていたが、画面の文字と音声が物語を語り始めると「とってもよく分かる」と思わず声を出した。つまり音声だけを聞いても、難聴のため何と言っているのか分かりにくい、画面上に文字があり、しかも読んでいる部分が太く示されるので、話している内容がよく分かるというのだ。そういえば、様々な場所でデジタル教科書を使っている学校があるかどうか聞いてきたが、未だに使っているという学校に出会ったことがなかったのだが、どこかのろう学校が使っているという話を仄聞したことがあった。その話を聞いたときにはなぜろう学校でデジタル教科書を使うのかよく理解できなかったが、Tさんが目の前で「とてもよく分かる」と言ったことで、その理由を納得できたのだ。

「東京漢点字羽化の会」例会・講習会報告と

わたくしごと

木村 多恵子

第63回例会並びに講習会

2011年2月9日（水）

11..00～12..00、講習会準備と短縮例会

13..00～13..30、講習会受付

13..30～15..30、講習会第一日目

場所、港区ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

講習会へのご参加をご決断くださいました5人の皆様、ありがとうございます。どうぞ末永く地道にご活動くださいますようよろしくお願いいたします。

「第二次パソコンによる、漢点字入力ボランティア講習会」の第一日目の準備のためと会員の連絡事項や講習会の手順についての最後の打ち合わせをするために、会員は11時に集合していただいた。

2月16日の『朝日「花をひろう」』の点字印刷をしに、横浜へ行ってくださる方をお二人決めていただいた。

3月も16日に点字印刷の予約をとっていた。来年度は毎月第3水曜日を点字印刷の予約をしてい

ただいた。

講習会一日目は、予定された方は6名であったが、体調を崩された方がおり、4人が参加された。

岡田さんが講習会の流れを説明し、漢点字について、何故漢点字が必要かという話を話された。

入力するとき、特に注意して頂きたいことも丁寧に説明した。

講習会第二日目 2011年2月23日(水)13時受付

13:30～15:30

場所、ヒューマンプラザ7階第一会議室

参加者は5人である。

今回はエディタのインストールとその使い方の方の解説を、馬越さんを中心にして岡田さんが説明をした。

漢点字入力用として本会ではエディタを使うことにした。

墨字では長音、マイナス記号、ハイフンを厳密に使い分けなくても、見かけ上何ら支障はないが、点字の記号は確実に使い分けていたかないと、記号が混乱するので、確実に正しく入力していただかなければならない。そのためには、このエディタは非常に都合がよい。

3月9日には実際に入力し、印刷してきていただいて、お互いに校正をするという課題をお持ち帰りにな

られた。

「羽化84号」を受講者も含めてお配りできた。

第64回例会並びに講習会

2011年3月9日(水)

12:00～13:00、短縮例会、

13:00～13:30、講習会受付

13:30～15:30、第三日目講習会、

場所、港区ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

短縮例会「花をひろう」の入力の各グループに、

新しいメンバーも加わっていただく。

3月16日の、横浜での点字印刷作業をしてくださる

3人が決まった。

5月と6月の例会と学習会の日取りを決めた。

4月からは、原則として、例会は竹芝小ホール、学

習会は第一会議室を予約することにした。

講習会第3日目「早速入力宿題の課題「糟糠の妻」

を、各自が印刷してきたものを隣同士で交換して校正

を簡単にした後、配られた正解とを比べながら、岡田

さんが丁寧にチェックしながら説明した。

「寺山修司の歌集」を入力、校正、回覧の方法を説

明した。

その他に、「花をひろう」の入力方法を、会員が説

明した。何れも早速実践していたことにした。

2011年3月11日14:46、未曾有の大災害が起きた。大地を揺るがすさまじさにまつたく圧倒され、「東北関東大震災」が起き、羽化のメンバー全員も恐らくご苦労をなさったことだろう。

岡田さんは本震と第1の余震が終わると直ぐ、横浜と東京羽化の会員に向けてメールで安否確認をされ、会員からも返信が届いてほっとした。

岡田さんは、交通事情その他を総合して、3月16日の横浜での点字印刷と、3月19日の学習会の中止を決定された。

* 予告

4月の例会(例会第65回)、2011年4月6日(水)

13:30~15:30、場所、ヒューマンプラザ7階

第二会議室

第47回学習会、2011年4月16日(土) 18:30~

20:30、ヒューマンプラザ7階第一会議室

5月の例会(例会第66回)、2011年5月11日(水)

13:30~15:30、

ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

第48回学習会、2011年5月21日(土) 18:30~

20:30、ヒューマンプラザ7階第一会議室

6月の例会(例会第67回)、2011年6月8日(水)

13:30~15:30、

ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

第49回学習会、2011年6月18日(土) 18:30~

20:30、ヒューマンプラザ7階第一会議室

わたくしごと

2011(平成23)年3月11日、金曜日午後2時46分、突然足下(あしもと)からゆらゆらと揺れてきた。「地震だわ」とつぶやくと、たちまちその揺れは大きくなり、横揺れが激しくなったので、流しもとに立っていたわたしは、荷物の少ない部屋へと姉と移動した。都営アパート14階建ての9階がわたしの住まいである。耐震構造建築のために、横揺れが大きい。地震を感じると、何時もわたしは、自分が居る場所が最高の震度であればいいと思う。それなら被害はそう大きくないと思えるからだ。今日の揺れはこんなに大きい。どうぞこの辺りが一番大きい震度でありますように、と今日も願っていた。

片手は柱に捕まり、もう片方は姉に捕まっていたが、姉が、「ボックスが倒れそうだから押さえるからね」と言った。わたし一人だったら、ボックスが揺れ

ていることに目と心が行き届かずに、もしかしたらボックスは倒れたかもしれない。

なんとという幸運だろう。一人暮らしのわたしなのに、この日、この時間のほんの少し前に、偶然姉がわたしの所へ来ていたのだ。たいていは外で待ち合わせるわたしたちなのに、この日に限って少し用事があったて、先に我が家へ寄ってから一緒に出かけることにしていた。しかもこの時間、用事が済んで、お茶を飲んでから出かけようと、お茶の支度のために流しもとに立ったところだった。

もしこの時間にエレベーターに乗っていたら閉じ込められただろう。あるいは電車に乗っていたら、これも苦労したことだろう。

お茶道具もなにも出ていず、熱いお湯での火傷もせず、サッシその他のガラスも異常なく、たったひとつ、トイレのタンクの水がこぼれただけで済んだ。

まだ揺れているうちにラジオをつけると、東北が震源地だという。わたしが居る東京がこんなに大揺れしている、ここなど本当はたいしたことではないのだ。震源地は遠く離れた宮城、福島、岩手、山形、青森、秋田だというのだから、現地はどんなに大きく揺れ、被害も相当なものになるだろう、と戦慄が走り、全身は恐怖に凍り付いた。

ラジオからは地震警報が鳴り続け何回も余震が起きた。その度に、東北地方が、更に揺さぶられているのだと思うと気が気ではない。速報を聞いていると、茨城、千葉の被害も大きいと報じている。

本震と第一の余震が終わると直ぐわたしは、停電することを考えて、お米を研ぎ御飯を炊き始めた。もしかしたら炊き終わらないうちに停電になるかもしれないが、姉が帰るにしても食べていってもらいたいし、もし歩いてでも帰らなければならぬとすればおにぎりを持って行った方がいいと思っただからである。

姉は自宅に電話をしたが、通じない。子供たちや孫たちへのケイタイメール送信は完了した。返信もポチポチ帰ってきた。15・10に兄（姉の夫）から電話が入り、兄も家も無事と分かった。電話が終わると、姉が、「お父さんがね、泊まってやれって言ったの」と言う。わたしは兄のこのご好意に甘えることにした。電車はだんだん、どこもこれも不通になっていったようだ。

わたしには、この大災害地に一大家族、大切な知人がいる。姉がケイタイで連絡を取っている間、わたしはその家に、難しいとは思いますがもかけずにはいられなかった。コール音はしても何方もお出にならない。お留守なのだろうか？大地震に耐えるために電話など

出ていられないのか、それとも家が無惨な状態になって怪我をして動けないのか、あるいは他の電話に出ていて、キヤッチが入っても切り替えるどころではないのか、不安が募るばかりである。

…。災害地全体へのご迷惑を考えて通話を諦めた。そして、少し間をおいて再度かけたが、もう話中の音である。更に時間を開けて三度の通話はコールどころか話し中もなく無音になっていた。不安は増すばかりだがどうしようもない。皆さんが外出しているなら、それも大変だ。居ても立ってもいられない焦燥。けれども全く無力だ。

ただラジオからの情報を聞いているしかないのだが、不安と恐怖と心配が先立って、沢山流れる情報の中から、今、必要なこと、わたしが知りたいことを冷静に聴き取って判断することができない。第一、地図が分からないわたしはA地域は震度7、B地域は死者百人などと言われても、わたしが案じている家族の住まいと、これらの地名との位置関係が全く分からない。

ラジオでは、公衆電話の方が繋がりやすい、と伝えているので、近くの公衆電話にも行って試したが、結果は同じだった。

どれほど沢山の人々がわたしと同じ不安を抱えて、この焦燥の中にいたことだろう。東北や関東の被災地は当然のことではあるが、姉が家族の安否を確認しているように、その他の地域でも、仕事に、学校に、その他いろいろな理由で、家族はバラバラ、知人のこと、親類、恋人のことなど、互いの安否を確認できるまでの不安を抱えて苦悩していたことだろう。

いや、今これを書いている3月21日現在でも、被災地に関わる人々についてはますますその思いが深まっているに違いない。

わたしの場合は、二晩一睡もできずに、ただ心配するだけの無力な時間を過ごしたが、13日日曜の朝、やっと、やっと、連絡が出来て、一応家族全員怪我もなく、御無事であること、家の中は散々になっているけれど、家全体はまあまあであること、ただ、ライフラインは全て絶たれていることが分かった。

しかし、それ以後、現地は余震が続いていて、更に悪化してはいないだろうか、健康状態はどうだろうか、本震では無事だったのに、幾たびもの強い余震で、怪我をしたり、家の状態が悪くなっているのではないだろうか？などと心配は尽きない。

被災されたこの家族が必要だろうと思われる物資一

つ運んでさし上げられないわたしは、これ以上こちらから連絡してご迷惑をかけることはできないのだ。けれども、本心はその特定の家族の状態を知りたい、が、あちらからの連絡を待つしかない。恐らく家の中の片付けや沢山の知人との安否確認を取り合っているだけでも、大変な思いをし、労苦してられるのだろう。

この大揺れの直後、岡田健嗣さんが、早々に、日頃独りでいるわたしに「大丈夫ですか？」とお電話をくださったのはじめ、何人も友人知人、兄弟たちが連絡くださったことは感謝で一杯である。

「偶然姉と一緒にいましたので」というと皆さん等しく「それはよかった」と言ってくくださった。

東京とその周辺の視覚障害者の仲間のことも気がかりで、メールや電話で問い合わせると、Aさんは知人と一緒にいたけれど、外出中で、やっとの思いで日付が変わろうとしている頃に家まで送り届けていたのだところ、怖くて眠れない、と12日の朝4時近くにメールへの返信があった。「暖かいものをお腹に入れて眠るのが一番では？」と書くと、「眠ったらもつとあの恐怖が倍增されそう」と返ってきた。

Bさんは、「一人で自宅近くを歩いていたら、歩道

を歩いていて、あんまり怖いのでしゃがんだら、誰かが側に立っていてくれたの、男の人か女の人か分からなかったけれど、治まったら近くのお店の人が、名前を呼んで、大丈夫？って声をかけてくれて、家まで送ってくれたの」とこれもなまなましい電話！

Cさんはマンションの2階の自宅にいた。家の中は物もお落ちず無事であったが、マンション全体のタンクかポンプが故障して二日間断水したという。

その他の仲間は自宅におり、怖かったとはいえ無事で、それぞれの肉親との連絡も取れたという。

「羽化」の学習者の皆さんは、職場から同じ方向の人たち同士チームを組んでタクシーで4時間かけて帰宅した人、職場と自宅が近いので同僚が家まで送ってくくださったという人、ガイドヘルパーの方と自宅近辺を歩いていたので無事家まで送ってもらった、自宅で仕事をしていたが、こちらも問題はなかった、などというのを確認できて、ひとまずホッと安心した。この大きな地震に遭遇したひとりびとりの体験は、人数分の物語を作っている。

この程度の揺れの中でもこんなに恐ろしい思いをした視覚障害者である。視覚障害者の仲間として名前だけは知っている災害地域の人もいる。本震のときの全体的様子をキャッチできない心細さを遙かに超した恐

怖を想い、また、その後の不安と困難と緊張の中にある、避難生活の毎日を考えると、わたしには耐えられないのではないかと思うほどである。

障害は視覚だけではない。車椅子を使っている人、聴覚障害者、もつともっと重篤な障害者、当然体の弱い高齢者も、大災害地に沢山いるだろう。

十日後の今もわたしはまだ本を読むことも、まとまったこともできず、ラジオを聞きながら、ただウロウロと部屋の中の掃除をしている。

個人から個人への物資の配達はできないと聞く。今、わたしができることは、多くの人がしているように、洋服を重ね着し、暖房を切り、節水節電である。

地震、津波による犠牲者は二万人以上と聞く。さらに原発の壊滅に近い脅威、放射能汚染が、これまでの大災害とは異なる永続的な恐怖が覆い被さっている。

この問題は日本だけではなく、周辺諸国にまでいるいろな形で影響するだろう。少なくとも放射能問題はこれ以上状況が悪くなりませんように！そして沢山の犠牲者（死者も生者も）が味わった悲しみと苦悩の意義が、復興計画に充分生かされますようにと祈り願うばかりである。

2011年3月21日（月）

東京漢点字 学習会報告

東京漢点字羽化の会 菅野良之

平成22年度 第10回（第46回） 報告

1 日時 平成23年2月19日（土）

18時30分～20時45分

2 場所 ヒューマンプラザ7階 第1会議室

3 出席者（省略）

4 使用教材 「漢点字講習用テキスト 初級編

第四回（全十回） 漢点字編、墨字編

5 学習会内容

周知事項

① 機関誌『うか84号（2011年2月）』の配布

② 横浜羽化の会で、「常用字解」に次いで「人名

字解」に取り組んでいる。

③ 漢点字ボランティア講習会、2月9日スタート。

ト。23日、3月9日の3回行う。

前回の復習

5 複合文字（2）

3. 第1基本文字と比較文字で

構成される文字（3）

(43) 「沢」 尺(タ・1・3・5の点)とさんずい(ニ・1・2・3の点)で表す。

(44) 「訳」 第2言偏(エ下がり・2・3・5の点)と尺(タ・1・3・5の点)で表す。

(45) 「守」 ウ冠(ウ・1・3の点)と寸(シ・1・2・5・6の点)で表す。

(46) 「村」 木偏(キ・1・2・6の点)と寸(シ・1・2・5・6の点)で表す。

(47) 「討」 言偏(エ・1・2・4の点)と寸(シ・1・2・4・6の点)で表す。

(48) 「冠」 ワ冠(2・5の点)と寸(シ・1・2・5・6の点)で表す。

今回の学習

(49) 「団」 くにがまえ(レ下がり・2・3・4・6の点)と寸(テ・1・2・3・4・5の点)で表す。字式はくにがまえ>寸。寸は「専」を簡略したもの。傳↓伝、轉↓転と同じ。音読みのダンは呉音、トン・ドンは唐音。訓読みに「まるい、かたま

り」がある。人名用に「まどか」がある。熟語に「一団」「楽団」「公団」「財団」「団塊」「団地」「金団(きんとん)」「水団(すいとん)」「炭団(たどん)」「団栗(どんぐり)」「団亀(どんがめ…スツ

ボン)」「地団太」「団欒(だんらん)」「蒲団(ふとん)」「他に「団扇(うちわ)」などがある。

(50) 「導」 道(ヒ・1・2・3・6の点)と寸(シ・1・2・5・6の点)で表す。字式は道/寸。道には魔除けのために人の首をぶら下げて歩くという意味がある。音読みのドウは呉音、訓読みに「しるべ」がある。熟語に「引導」「訓導」「伝導」「主導」「先導」「補導」「盲導犬」「導引(どういん…みちびくこと。あんま。もみりようじ)」「道導(みちしるべ)」「山導(やましるべ…山の案内)」など。

※ 「付」と付をパーツとして含む文字。

(51) 「付」 人偏(ナ・1・3の点)と寸(シ・1・2・5・6の点)で表す。字式は人偏+寸。音読みのフは漢・呉音。訓読みに「つく」がある。熟語に「交付」「手付け」「番付」「受付」「貸付」「片付け」「怖気付く」「給付」「心付け」「極め付け」「日付」「紋付」「付加価値」「尾頭付き」など。

※ 「つく」の文字に「着く」「点く」「就く」「突く」「搗く」「衝く」「撞く」「憑く」「漬く」などがありそれぞれ意味がある。

(52) 「府」 まだれ (ヨ・3・4・5の点)

と寸 (シ・1・2・5・6の点) で表す。字式はまだれ>付。まだれは建物を表す。音読みのフは漢・呉音。訓読みに「くら、みやこ」がある。熟語に「幕府」「府立」「天府 (てんぷ…天然の庫学識の深いこと、天子のくら)」「府庫 (貨財をおさめいれる蔵)」、地名に「甲府」「駿府」「府中」「別府」「防府 (ほうふ)」「国府台 (こうのだい)」「大宰府」など。

(53) 「寺」 土 (テ・1・3・4・5の点)

と寸 (シ・1・2・4・6の点) で表す。字式は土/寸。音読みのジは呉音。熟語に「縁切寺 (えんきり)でら、駆け込み寺に同じ)」「寺子屋」「神社」「寺男」「寺肴 (てらざかな…豆腐)」「名前に「寺井」「寺田」「寺坂」「寺門」などがある。

(54) 「詩」 第2言偏 (エ下がり・2・3・

5の点) と寸 (シ・1・2・5・6の点) で表す。字式は言偏+寺。音読みのシは漢・呉音。熟語に「哀詩」「詩人」「口詩 (くし…口で詠ずる詩)」「景物詩 (四季の風物を読み込んだ詩)」「作詩」「詩集」「詩吟」「叙事詩」「抒情詩」「自由詩」「散文詩」「即興詩人 (アンデルセン作、森鷗外訳の長編小説)」「風物詩」など。

「報告と」案内

一 お見舞い

去る3月11日・14時46分、青森・岩手・宮城・福島・茨城・千葉の各県を、マグニチュード9.0、最大震度7という、未曾有の大地震が襲いました。ほぼ同時に、最大38メートルという大津波が、東北・関東地方の太平洋岸を襲いました。

さらに東京電力の福島原発では、地震と津波によって冷却装置が破壊され、現在では米国のスリーマイルズ島や、旧ソ連邦のチェルノブイリを超えるという原発事故が出現しました。

1ヶ月を経た現在でも、被害の全容が明らかでなく、復興の端緒さえ見いだせない状況です。

被災された皆様、一日も早く日常を取り戻していただきたいと、心よりお祈り申し上げます。

震災と津波によっていのちを落とされた皆様、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

なお漢点字使用者も、被災された地方には大勢おら



れます。残念ながら私どもは、方々の安否を尋ねる術を持ちません。お元気でおられることをお祈り申し上げますとともに、何らかの方法で、お元気なお声をお寄せいただければ幸いに存じます。

二 賛助会員への御礼

2010年度、横浜並びに東京漢点字羽化の会に、賛助会費をご納入下さいました皆様に、心より御礼申し上げます。有効に使わせていただきます。

ご芳名は以下の通りです。

大滝正雄様、川上リツエ様、雨宮絢子様、
木村多恵子様、滑川強様、河村美智子様、
遠藤幸裕様、武田幸太郎様、高橋かず様、
飯田みさ様、佐川隆正様、松村敏弘様
大変ありがとうございます。

三 『常用字解』、『人名字解』以後

この3年に渡って、『常用字解』、『人名字解』（白川静著、平凡社）の漢点字訳を試みて参りました。この作業から、漢点字がどのような文字であるかを、私ども自身、再発見した思いであります。

そこで今後は、『万葉集』（伊藤博監修）を横浜

で、『岩波古語辞典』（大野晋監修）を東京で試みたいと考えております。

ご期待下さい。

四 『常用字解』、『人名字解』の音訳

前号でもご提案申し上げましたように、『常用字解』、『人名字解』の漢点字訳を通して経験させていただいたものは、誠に貴重なものでした。ノウハウと呼んでもよいものも手にしました。

そこで、漢字の知識をお持ちでありながら、漢点字をご存じない視覚障害者の皆様に、音訳書としての同書を、ご提供できないかと考えております。

ご関心をお寄せいただける音訳者の皆様、是非ご一報下さい。

五 ご報告と御礼（岡田より）

本会の代表を務めております岡田は、2005年、障害者自立支援法の施行に依じて、障害者の外出支援（ガイドヘルプ）事業を行う企業・（有）横浜トランスファ福祉サービスを設立しました。

2006年から、NHK学園専攻科の科目生として通信教育を受講し、2010年3月に卒業しました。

それによって介護福祉士の国家試験の受験資格を取得し、2010年に受験することができました。

ところが昨年ご報告致しました通り、見事に失敗し、2011年の受験を期して、1年を過ごすことになりました。

本年1月30日に再挑戦し、このほど幸運にも合格通知を手にすることができました。

これは偏に、私を支えて下さった皆様、学生として受け入れて下さり、勉強させていただきましたNHK学園の先生方、快く実習をお引き受けいただきました特養老人ホーム・清風園の職員の皆様、実技研修をお引き受けいただきました三幸カレッジの先生方、そしてテキストを漢点字訳して下さった羽化の会の会員各位、スクーリングや実習でお世話をおかけしたガイドヘルパー各位、皆様のお力がなければ、達成できるものではありませんでした。本当にありがとうございます。

これで弊社設立の発起人としての責任の一端を果たせたと、肩の荷を下ろした思いでございます。

さて弊社の事業は、障害者の外出を支援するものです。この度の震災は、昨秋から言われておりました災害時の帰宅難民を、誠に見事に出現しました。

私は幸いにして外出しておりませんが、都市の交通機関がたちまち途絶し、道路は車で溢れ、後にお聞きしたところでは、何時間も歩き通して帰宅された方、避難所で一夜を明かされた方、動かない車を我慢強く運転して帰られた方など、想像を絶する体験をなさっております。羽化の会の会員にも、そのようにして自宅へお帰りになられた方が多くおられました。

弊社のガイドヘルプ事業もご多分に漏れず、そのような状況に巻き込まれざるを得ませんでした。ヘルパーの皆様は、利用者の方とともに何時間も歩かれたり、何時間も歩いて帰宅されたり、あるいは利用者の方とともに避難所で一夜を明かされたりしております。

本当にお疲れ様でした。

皆様、弊社の事業を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

六 漢点字講習会

前号でもご案内申し上げましたように、2011年度も、引き続き漢点字講習会を開催致します。ご参加をお待ち申し上げます。

漢文のページ

科挙をめぐって

戯題ニ関門ニ

岑参

来^{タル}亦^モ一^モ布^モ衣^モ
 去^ル亦^モ一^モ布^モ衣^モ
 差^ソ見^ルニ^ラ関^ノ城^ノ吏^ヲ
 還^ル従^リニ^ラ旧^ノ路^ノ帰^ル

登科後

孟郊

昔^ノ日^ノ齷^ク齷^ク不^レ足^ラ誇^ル
 今^ノ朝^ノ曠^ク蕩^{トシ}思^ヒ無^シ涯^リ
 春^ノ風^ニ得^テ意^ヲ馬^ノ蹄^シ疾^シ
 一^ニ日^ニ看^テ尽^ク長^ク安^ノ花^ノ



科挙の受験

戯れに関門に題す

岑参

来^{タル}も亦^モ一^モ布^モ衣^モ
 去^ルも亦^モ一^モ布^モ衣^モ
 関城の吏を見るを差す
 還^ル 旧路より帰る

布衣(ふい) || 官職についでいない庶民。
 題す || 物の上に書きつける。試験に落ちて、
 関所の門に戯れに書きつけた詩。

関所の役人と顔を合わせるのも恥ずかしい
 が、もと来た道を帰っていく。

登科の後

孟郊

昔^ノ日^ノ齷^ク齷^ク不^レ足^ラ誇^ル
 今^ノ朝^ノ曠^ク蕩^{トシ}思^ヒ無^シ涯^リ
 春風^ノに意を得て馬蹄疾し
 一日^ニに看^テて尽^クす長安の花

登科(とうか) || 科挙に合格する。
 齷齷(あくあく) || あくせく(齷齷)と同じ。
 長安の花 || 合格者は宴会に招かれた後、連れ
 だつて馬で長安城中の牡丹を觀賞
 してまわる。

これまでの苦勞も忘れて、開放感に満ちた
 晴れがましいひととき。



戲 レニ 題 ス 関 門 ニ

岑 参

来 タルモ 亦 一布 衣

去 ルモ 亦 一布 衣

羞 ツ 見 ルヲ 関 城 ノ 吏

ヲ

還 従 リ 旧 路 帰 ル

登 科 ノ 後

孟 郊

昔 日 ノ 齷 齷 不 足 ラ 誇 ルニ

今 朝 曠 蕩 トシテ 思 ヒ 無 シ 涯

リ

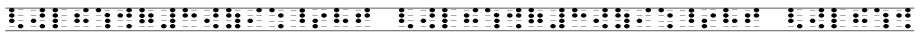
春 風 ニ 得 テ 意 ヲ 馬蹄 疾 シ

一 日 ニ 看 テ 尽 クス 長 安 ノ 花

岑参 (715~770年)・孟郊 (751~814年)は、
いずれも唐代の詩人。
高級官吏の資格試験である科挙の合格者は、
当時、100人に1人という狭き門だった。



参照図書：奥平卓『漢文の読みかた』
岩波ジュニア新書




漢点字講習用テキスト

初級編 第二十五回

4 基本文字 (3) 比較文字



3. 長さ、重さ、容積の単位を表す比較文字 (承前)

(33) 斤  キン コン おの

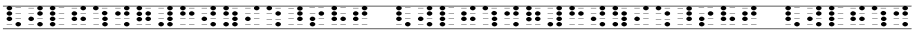
木を切ったり割ったりするときに使う道具「おの」の刃を象った文字です。その刃を重りにして、ものの重さを計ったことから、重さの単位を表すようになりました。一斤は百六十匁で、約六〇〇グラムです。現在では、食パンを販売するときの大きさとして馴染んでいます。この文字は、部首の「おのづくり」として、他の多くの文字に含まれています。漢点字では、「」で表されます。

「斤量」「食パン一斤」

(34) 屯  トン たむろ - する


植物が地中に根を張って、今にも芽を出そうとしている所を象った文字と言われます。地中にエネルギーが漲っている様子を表しています。「たむろする」と読んで、人が沢山集まって、がやがやと騒がしい様子に用いられます。兵隊を集めて治安に当てることを「駐屯」と言い、その場所を「屯所」と言います。また、明治時代の北海道に、国の防備と開拓を目的に置かれたのが「屯田兵」でした。この文字は、重さの単位を表すものではありませんが、メートル法の「トン」を意味する漢字「噸 」の中に含まれていますので、〈比較文字〉に加えられました。漢点字では、「」で表されます。

「屯所」「屯営」「屯田兵」「駐屯」




※容積の単位を表す比較文字。

(35) 升  ショウ ます


穀物や液体を入れたマスを、手で持って上に上げて、分量を量る様子を表す文字です。「マス」を意味するとともに、その容積の単位をも表します。一升は約一、八リットル、一合の十倍に当たります。漢点字では、「」で表されます。



「一升瓶」「一升栴」

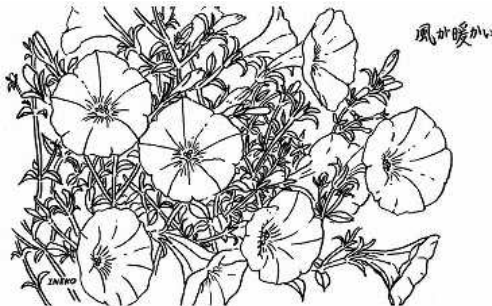
(36) 斗  ト ひしゃく

柄のついたヒシャクを象った文字です。ヒシャクで穀物や液体の容量を量ることから、容積の単位に用いられるようになりました。一斗は約一八リットル、一升の十倍に当たります。また、ヒシャクの形から、星座の名にも用いられます。漢点字では、「」で表されます。

「一斗缶」「五斗米」「北斗七星」

(37) 勺  シャク セキ く - む

「つつみがまえ」(後の包の項でご紹介します)の中に点を入れた形の文字です。ヒシャクで、酒や汁を汲み取る形を象っています。「くむ」の読みは、そこから生じました。「しゃく、せき」は、容積の単位、一合の十分の一、一升の百分の一で、約一八ミリリットルです。他にも面積の単位として、一坪の百分の一、登山の路程の百分の一、一合の十分の一の意味があります。漢点字では、「」で表されます。「」は、「門構え」とともに、「つつみがまえ」として用いられます。



編集後記

▼「東日本大震災！」なんと恐ろしいことが起こったのでしようか。「想定外」も「想定外」、絶

対に起こるはずのないことが、起こってしまったのです。15mを超える津波が、何基もの巨大原発の設備をのみ込んでしまったのです。それを設計した技術者たちは、まさか千年に一度の天津波までは考えていなかったのでしょうか。でも、起こってしまったものに対してはただただ対策を考えるしかない▼いったいこれから先、どうなるのでしょうか。いつとき、原子力関係の材料開発に携わった身としては、その技術の行き着く先がこういうことにつながったという事実には、忸怩たるものがあります。いずれ、多かれ少なかれ放射能の影響は徐々にその範囲を広げてくることは確かです。それがどの程度に収まるのか、ただ固唾をのんで見守るしかありません。何とか無事に収まってくれと、祈るのみです▼何はともあれ、岡田さん、合格おめでとうございます。自ら障害者支援のための会社を立ち上げ、その業務の運営をスムーズに運ぶために介護福祉士の資格を取られたと伺っています。漢点字普及活動の一環として、当誌の発行を維持して行くために、毎回膨大な原稿を執筆されている岡田さんに、畏敬の念を禁じ得ません。

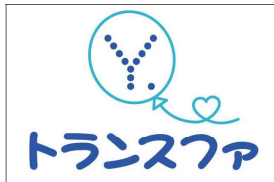
(木下 和久)

(有) 横浜トランスファ福祉サービス

障害者自立支援法の下、障害者にガイドヘルパーを派遣して、外出を支援しています。対象は、横浜市在住・在宅の、視覚・肢体・知的重度障害者。

常時募集・ガイドヘルパー：資格・ホームヘルパー2級以上、および視覚・肢体障害者移動介護研修修了。

業務概要：上記障害者の外出支援。詳細は担当・柳田まで。



〒231-0063横浜市中区花咲町1-46-1

GSプラザ桜木町1104

電話： 045-263-0306

FAX： 045-263-0316

E-MAIL (岡田健嗣) : okada_tr_eib@ybb.ne.jp

横浜漢点字羽化の会 URL : <http://ukanokai.web.infoseek.co.jp>

《表紙絵 岡 稲子》 次回の発行は6月15日です。

※本誌(活字版・DAISY版・ディスク版)の無断転載は固くお断りします。